

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 5 年 5 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 5 年 5 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 5 年 5 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【人流の回復等により全体の業況は改善傾向にあるものの、物価高や人手不足等の影響は大きく、収益回復は途上である】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-13.7（前月-17.6、前年同月-27.7）で、前月比 3.9pt 好転した。新型コロナが 5 類へ移行され人流が平時に近づく中、建設業や小売業を中心に売上増加傾向にあるものの、物価高や人手不足等の改善は鈍く、抜本的な収益改善には至っていない。

【製造業】

業況は-16.7（前月-14.7、前年同月-21.6）と前月に比べ 2.0pt 悪化した。物価高や人手不足等による利益圧迫が続く中、一部では生産性向上に向けた設備投資の動きがみられる。

【建設業】

業況は-8.8（前月-17.6、前年同月-44.2）と前月に比べ 8.8pt 好転した。リフォーム工事を中心に業況は改善傾向にあるが、人件費や資材価格の上昇に対し、適正な価格転嫁に苦慮している。

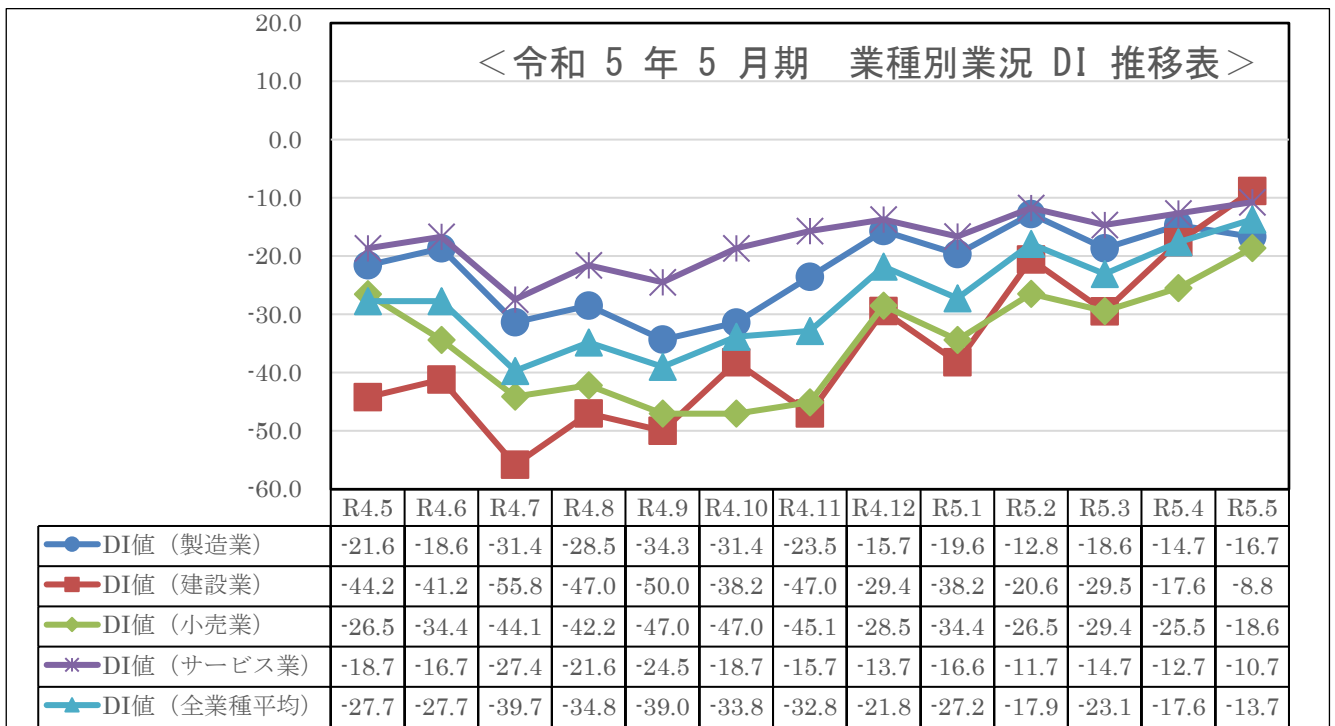
【小売業】

業況は-18.6（前月-25.5、前年同月-26.5）と前月比 6.9pt 好転した。人流回復等に伴い業況は改善傾向にあるが、消費者の節約意識は高く、人件費等の諸経費上昇が負担となっている。

【サービス業】

業況は-10.7（前月-12.7、前年同月-18.7）と前月に比べ 2.0pt 好転した。新型コロナの 5 類移行や人流回復に伴い、理美容業等の需要は回復傾向にあるが、人手不足等による影響は大きく、ゼロゼロ融資の返済が始まる中で資金繰りに苦慮している。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：名波・増田〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・食料品製造業では、人手不足に加え、天候不良等が原因で一部の野菜類が4倍近く値上がりしており、利益を圧迫している。（伊豆）
- ・技術力のある事業者は繁忙が続いており、その中で生産性向上のための設備投資を検討する事業者が増えている。（富士駿東）
- ・機械金属業では、物価高騰による影響で、採算が悪化している状況である。（中部）
- ・売上はコロナ前の水準に戻りつつあるが、物価高騰の影響が大きく業況は厳しい。（中東遠）
- ・EVシフトや生産性向上を見据え設備導入したものの、ウクライナ情勢等を影響に、想定需要に至らず、収益悪化に苦しむ事業者もいる。（西遠）

【建設業】

- ・受注は多いものの、人手不足の影響で施工まで順番待ちとなっている事業者がいる。（伊豆）
- ・受注は増加しているが、資材価格上昇の中、価格転嫁に苦慮している。（富士駿東）
- ・資材価格と外注経費等が高止まりしていて、住宅建築は価格の上昇により契約を見合わせるケースも出てきている。（中部）
- ・リフォーム受注が好調であり、施主が活用できる補助金の申請について事業者が手厚く支援している。（中東遠）
- ・物価高騰により見積金額が高くなったことで、施主の融資が通らず再度打合せが必要となり、商談が進みにくくなっている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

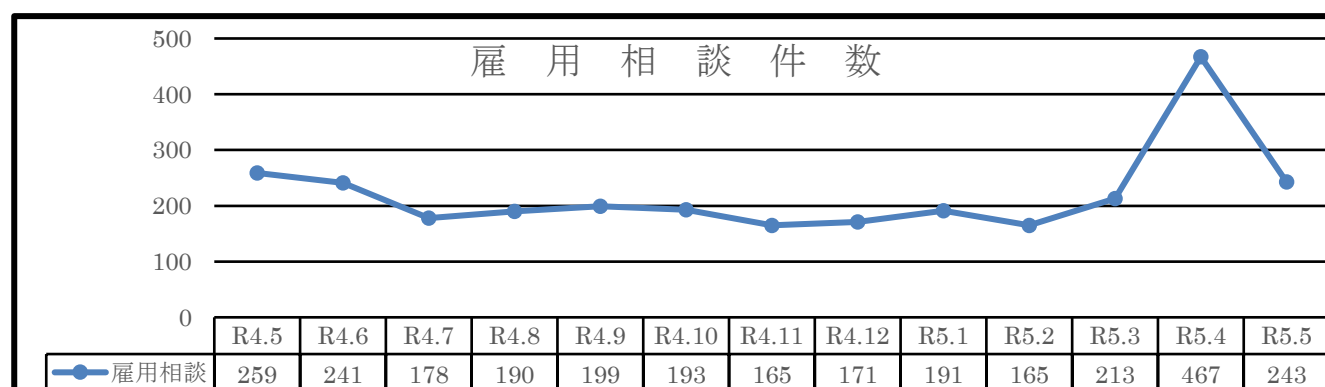
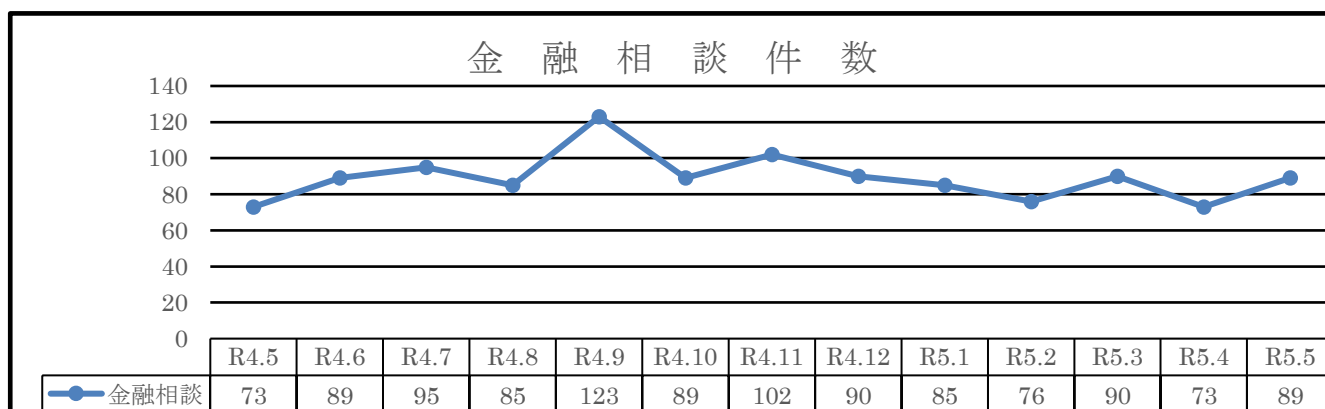
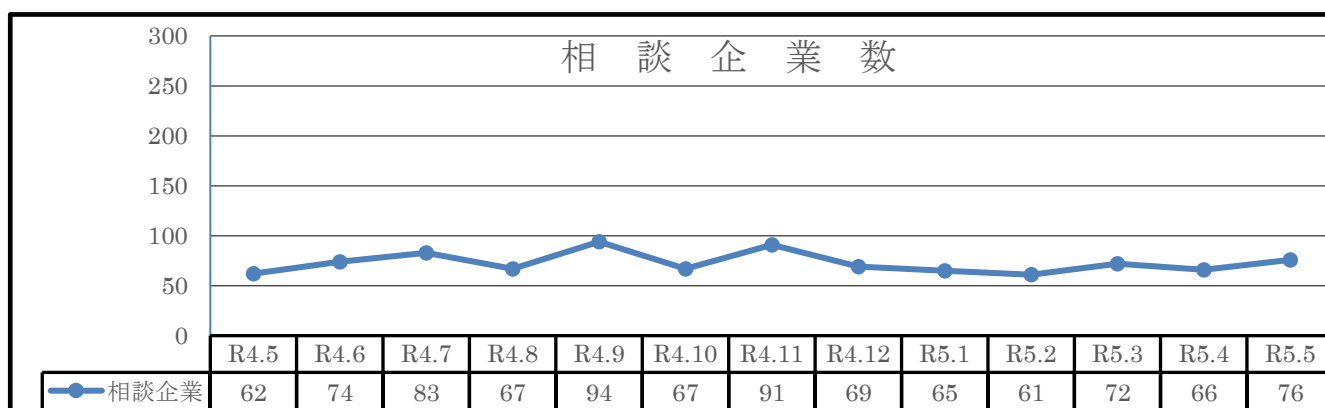
- ・来客は回復も、全般的な物価高騰により、安価なものが売れ筋となっている。（伊豆）
- ・物価高騰とともに賃金引上げに迫られており、収益悪化に不安を感じている。（富士駿東）
- ・行動制限が無くなり衣料品売上は改善傾向にあり、夏物の需要も期待している。（中部）
- ・省エネ家電は好調であるが、嗜好品については動きが鈍い。（中東遠）
- ・テナント店と個店で人流が二極化しており、収益の差が大きい。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・理美容業は、GWでの外出や旅行前の身だしなみ等で売上の回復がみられる。（伊豆）
- ・GWは国内外の観光客も多く活況が戻ったものの、人手不足に加え、単価の高い高級旅館は敬遠され期待より伸びなかった。（富士駿東）
- ・売上は回復傾向にあるものの、物価高騰による収益悪化の声が多い。（中部）
- ・新型コロナが5類に移行しても団体客の増加はみられず、諸経費上昇により資金繰りは厳しい。（中東遠）
- ・物価高騰に合わせ料金を改定したが、水道光熱費の上昇に見合うほどの料金改定は難しい。補助金等も活用して設備導入を行いたい資金繰りに余裕がない。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和5年5月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	76	66	10
【金融相談件数】	89	73	16
新規融資(借換えを除く)	63	47	16
既存債務の借換え	24	24	0
借入れ条件変更	0	1	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	2	1	1
【雇用相談件数】	243	467	-224



【金融相談】

金融相談件数は89件と前月(73件)に比べ16件増加した。新型コロナ関連融資の返済開始に伴う資金繰り対応や、コスト高を補うための新規設備投資等に関する相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ特貸の返済が始まり、運転資金の借替相談が増加している。(伊豆)
- ・店舗改装等設備投資に係る融資相談が多いものの、業況は厳しくハードルは高い。その他各種補助金の活用に係る資金相談に対応した。(富士駿東)
- ・新型コロナが5類となり、経済活動が活発となっていることから、新たな取り組みに向けて前向きな資金相談が増えてきた。(中部)
- ・コロナ特貸の借替相談や、物価高に対応するための仕入資金相談等に対応した。(中東遠)
- ・売上が思うように戻らない中、物価高により利益幅が圧縮され、資金繰りの苦しい事業所が増える不安がある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、243件と前月(467件)に比べ224件減少した。先月は労働保険の年度更新に伴う諸手続きに関する相談が多かったが、今月はデジタル化による人手不足への対応の他、労働法制の制度改正等の相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ時期に退職した従業員に戻るようお願いしているが、反応が芳しくなく従業員確保に苦労している。どの業種においても人手不足で事業拡大ができない状況である。(伊豆)
- ・令和5年度の制度改正(中小企業の時間外労働の割増賃金率引き上げ等)や業務改善助成金について適宜案内した。(富士駿東)
- ・人材確保のため、競合より高い給与で求人を出す必要を感じているが、資金に余裕がないという声が多い。(中部)
- ・先月に引き続き、新年度における従業員の入退社に関する雇用保険手続き等の相談が多くあった。(中東遠)
- ・人材不足対策としてデジタル化が挙げられているが、導入が出来ても使いこなす事が難しいといった声があった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・5/28(日)に当町で初めてのトレイルレース「ユーラスエナジーカップ2023 天城アタック35」が開催された。商工会でも女性部、青年部等が協力し、約230名の参加者と関係者の来町により、宿泊、飲食、土産物販売等に大きな波及効果があった。(河津町)
- ・5/26(金)～5/28(日)にかけて富士スピードウェイで「富士SUPER TEC24時間レース」が開催され、商工会ブースにて優良推奨品のPRを行った。(小山町)
- ・8/5(土)に「ふじかわ夏まつり」を開催予定であり、今年は開催規模をコロナ禍前に戻す方向で準備を進めている。(富士市)
- ・5/31(水)にChatGPTに関する注意点や機能を学ぶ講習会を実施した。講演会内では菓子製造業における集客に向け、実際の商品を例にキャッチコピーやロコミの回答の生成を実演した。(掛川みなみ)
- ・5/21(日)に「森のKトラ市」を開催し盛況であった。(森町)